

留 学 報 告 書

記入日:2019年7月19日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ニューヨーク州立大学ニューパルツ校 現地言語: The State University of New York at New Paltz
留学期間	2018年8月～2019年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年6月8日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:1月下旬～5月中旬 2 学期:8月下旬～12月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	6700
創立年	1828

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料		円	
宿舍費		円	
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	

渡航関連

渡航経路: 日本から LA 経由のニューヨーク行

渡航費用

チケットの種類 American Airline

往路 約150000円

復路 _____

合計 _____

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

特になし。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 7)

3)住居を探した方法:

学校が決めてくれた寮に一度住んでいましたが、途中でキャンパス内の違う寮に引っ越しました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私が途中で引っ越した Crispell Hall は新しく、綺麗でした。また食堂もすぐ横なので利用しやすかったです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

問題はありませんでした。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特になし。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

校内で wifi はあるので、現地 sim カードを買っている人は少なかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

銀行口座は、日本で開設したものを使った。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

シャンプーやスキンケア用品は、自分に合ったものを持っていくとよいかもしれません。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

毎月の支払いが自動で落ちるように、学校の web サイトから設定した。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
特になし。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
まだ明確には決まっています。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
私は留学中に就活を全くしなかったのですが、現在インターンシップなどに応募をしているところです。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
26 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to Women's, Gender and Sexuality Studies	
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	Meagan O'Sullivan
授業内容	女性学、LGBTQ 研究についてのイントロ
試験・課題など	試験:エッセイが二回、プレゼンテーションが二回 課題:毎回の2、3のリーディングとそれについてのミニレポート
感想を自由記入	今まで出会ってきた教授の中で、一番素晴らしい方でした。留学生にもとても優しく、オフィスアワーに行くことで、より理解を深めることが出来ました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to sociology			
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	授業とオンライン(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 1 回		
担当教授	Carolyn Corrado		
授業内容	社会学全般についての導入		
試験・課題など	試験: 実験、それについてのレポート、テスト二回 課題: 毎回のリーディングとクイズ、オンラインでディスカッション		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Live Theatre Experience			
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ディスカッション、実際にショーの鑑賞(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 170 分が1回		
担当教授	Sun Hee Kil		
授業内容	ブロードウェイ鑑賞、それについてのディスカッション		
試験・課題など	鑑賞前、後にそれぞれレポート、テストはなし		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ESL Listening and Speaking			
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が3の回		
担当教授	Warren Wilson		
授業内容	Speaking と Listening の練習		
試験・課題など	プレゼンテーション二回、時々小テストあり		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Elementary Spanish			
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Pablo Guerra Casado		
授業内容	スペイン語の初級		
試験・課題など	たまに宿題と、テスト前にオンライン課題あり。テストは全部で三回。		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Masculinities			
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に170分が1回		
担当教授	Karl Bryant		
授業内容	男性への oppression について学ぶ		
試験・課題など	毎回のリーディングとそれについての毎回の1200文字程度のエッセイ、プレゼンテーション二回		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Rape and Sexual Assault			
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に170分が1回		
担当教授	Amy Silvestro		
授業内容	レイプや性暴力について学ぶ		
試験・課題など	毎回のリーディングと reflection paper		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Communication and Gender			
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Janice Anderson		
授業内容	コミュニケーションにおけるジェンダーとの関係性について学ぶ		
試験・課題など	ペーパーが3回、テストが2回		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Percept of diversity in Communication			
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授			
授業内容	コミュニケーションに見られる、ダイバーシティについて		
試験・課題など	ペーパー三回、テスト三回、期末にリサーチペーパー		
感想を自由記入			

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	夏休みに TOEFL の勉強始める
10月～12月	TOEFL 受験
2018年 1月～3月	
4月～7月	Visa、予防接種、航空券
8月～9月	出発
10月～12月	10月 中間試験 12月 期末試験
2019年 1月～3月	
4月～7月	3月 中間試験 5月 期末試験 6月 帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私は、中学生で英語を習い始めた時から留学を志していました。この協定留学に行くまで一度もホームステイなどしたことがなく、周りでそのような経験をしている子を見るとうらやましくなることもありましたが、そうした悔しさを糧に、いつか絶対留学をするんだ、と英語の勉強を頑張ることが出来ました。また、大学に入り、女性のエンパワメント、LGBTQ などについてより学びたいと思うようになりました。それには、研究の進んでいるアメリカで勉強をするべきだと考え、協定留学に応募しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語での作文力はあげておいた方が良いと思います。また、様々な英語の文献を読んでアカデミックな英語に慣れておくことも大事です。また、日本料理なども作り方を知っておくと、海外で作る機会があったときにとても喜ばれると思います。
この留学先を選んだ理由	私は、もともと英語圏の国での留学を考えていました。また、多文化共生にも興味があったので、人種のるつぼとも言われるニューヨーク市に近いところにあるこの大学に興味を持ちました。更に、知り合いの方が私の前に留学しており、私の希望に合う、とてもレベルな学校だと聞いたため、この学校を選びました。
大学・学生の雰囲気	大学のキャンパスはとても広く、キャンパスの端から端に行くだけで20分くらいかかりました。校内にはスターバックスやカフェもあり、外に出ずとも友達と hang out することも出来ます。
寮の雰囲気	私は比較的新しい Crispell Hall という寮に住みました。特に企画などはありませんでしたが、留学生が多い寮だったのでみんなでラウンジで映画を観たりしました。
交友関係	10月の終わりくらいまで、自分の課題を終わらせることにいっぱいいっぱい、友達とあまり出かけに行けなかったため、すこし出遅れた感じはありました。また通常、留学生は、自分の部屋のルームメイト、スイートメイトとして他の留学生がいるのですが、私は自分の部屋に留学生が一人だったため、他の留学生よりも少しハンデがあるような気もしました。ですが、そこは自分の行動次第でどうにかなるものだったので、とくに問題はなかったです。また向こうでは、いわゆるノリの良い人がとても多いので、恥ずかしがらずにどんどん素の自分を見せていくとよいと思います。
困ったこと、大変だったこと	最初はなんでも苦勞の連続だと思います。食事が合わない、水が悪い、夜中は治安が悪い、など最初はプチストレスもありましたが、全ては慣れだと思います。留学したら、どこでも苦勞はあると思いますし、ストレスになることもあると思います。でも、そこで悩むより変化はささっと受け入れて、楽しむことに時間を費やしてほしいと思います。
学習内容・勉強について	
課題・試験について	課題の量は、当たり前ですが膨大でした。慣れるまでは、ほぼ徹夜状態で課題を終わらせ授業に行くこともありました。そこで私が他のアメリカ人から聞いたことは、どれくらい手を抜けるか、を知ることが大事ということです。例えば、リーディングでもすべてをじっくり読み込むのではなく、大事なところはよく理解し、あとは流し読みするなどして、効率よく勉強していました。試験は科目によりけりですが、クリエイティブな試験も多く、アメリカならではのな、と感じました。

大学外の活動について	私は特に部活には所属せず、仲の良いフランス人のいる French Club, French Movie Night に入っていました。
留学を志す人へ	留学は、本当に瞬きする間に終わってしまいます。その短い時間を充実したものにするためには、自分から行動することは必要不可欠です。誰に何を言われるわけでもないのに、例えば他の日本人とだけ固まって、他の学生と交流を持つとできなかったりなど、楽なように生活していくことも出来てしまいます。そこは、自分がどれだけ頑張れるかにすべてがかかっていると思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	ジム						
		授業	自習	ジム	授業	自習	
午後		授業	自習	授業	授業	自習	
	授業	授業	自習	自習	自習	自習	
夕刻		授業	友達とお茶	French Club			
夜	自習	French Movie Night	自習	ジム ブート キャンプクラス	遊び	遊び	